

# 令和5年度 事業計画

## 岡山理科大学附属高等学校



現代は、想定されていなかった出来事が突然発生し、私たちの日々の生活や世界のあり方までも変わってしまう時代です。このような社会をたくましく生きる若者を育てるため、国を挙げて進められる教育改革を踏まえ、本学建学の理念「ひとりひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出す」教育プログラムを展開します。



新型コロナウイルス感染症の世界的な感染爆発は、私たちの日常生活にも大きな影響を与えました。現代の社会は、これまで経験したことがないような大きな変化が起きようになっており、また、これからも、予想がつかない変化が続いて行くものと思われまます。将来を担う若者に、このように予見される世界を、たくましく生き抜いてもらうためには、単に知識や技能を授ける教育ではなく、未知の状況にも対応できる思考力や判断力、そして、学びを人生や社会に生かそうとする人間性の涵養が欠かせないとされています（これら3つを柱とする、幼稚園から高校までの新学習指導要領に基づく教育改革が進められています。）。

本校は、4年前に、特徴のある4つの教育コース（グローバルサイエンス、総合進学、スポーツサイエンス、国際バカロレア）を設立しました。これら4つの教育コースでは、「ひとりひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出す」という建学の理念に基づき、これまでに培ってきた教育資源や岡山理科大学等の系列校との連携を活かす教育プログラム、さらに、岡山県で最初となる国際バカロレア教育を展開しています。それぞれの教育コースは、独自の育成目標を掲げ、そこでの学びがそれぞれの人生や社会で生かされるようにカリキュラムを編成しており、入学者のひとりひとりが、それぞれの目標に向かって学び、成長していく教育を提供してきています。また、通信制教育課程についても、時代の要請に応える国際的な通信制教育として、抜本的な改革を行い、加計学園の教育資源を活用した多様で深い学びを提供しています。

加計学園は、これからの社会を支える人材を輩出していくため、学園全体が将来像を共有し一体となって取り組んでいく5カ年計画を、昨年度決めました（加計学園ビジョン2026）。本校もこの5カ年計画で設定した目標を着実に達成していくため、附属中学校とも連携をとりながら、本年度の事業計画として、以下の項目に取り組みます。

### I. 教育の推進

- 1) 加計学園全体の教育資源を有機的に活用した質の高い教育の提供と進路の開発
- 2) 世界が認めるグローバル人材を育て国際バカロレア教育の推進
- 3) 時代の要請に応える国際的な通信制教育の展開

### II. 生徒の支援

- 1) 生徒の多様な資質や希望に応えるコース設計
- 2) 生徒支援・指導体制の充実

### III. 地域社会との連携

### IV. 国際理解と国際貢献

### V. DXの推進

### VI. ガバナンス体制と内部質保証システム

岡山理科大学附属高等学校 校長 田原 誠

## I. 教育の推進

### 1. 質の高い教育の提供に関する目標

中期計画	事業計画
<p>[1] 質の高い教育の提供に関する計画</p> <p>1) 加計学園の高等教育機関と各教育コースとの連携について、その実施方法等を評価・検討しながら推進する。</p>	<p>[1] 加計学園の高等教育機関との連携による質の高い教育の提供</p> <p>関連校の大学の講義等を履修するカリキュラムにより、学問的な発展などに興味を抱かせる。さらに、本校での教育を大学での単位認定取得につなげることで、連携大学への進学を導く。また、生徒が大学の教育研究に触れることで、生徒一人ひとりの能力・適性や自己の発見と成長に繋げる。</p> <p>岡山理科大学との連携体制構築のために、高大接続担当を置き、円滑な活動を進める。</p> <p>さらに、岡山理科大学との高大連携の中心であるグローバルサイエンスコース1年次、2年次のサイエンスワーク（大学聴講）、2年次、3年次のゼミ活動については、開講科目の増加による充実を図る。</p>
<p>2) 新しい学力観の養成に即した教育方法や、ICT を活用した授業方法の導入を進める。</p>	<p>[2] 新しい学力観の養成に即した教育方法</p> <p>教員一人ひとりが、教科教育の専門性を高め、授業の質的改善を行い、生徒の基礎・基本的な学力を定着させ、生徒に応じた細やかな教育指導を行う。さらに、発表や討論の時間を設定し、対話的な協働学習を進めるなどの実践的な協働教育の充実を図り、生徒が意欲的に学習できる環境の構築に努める。</p>
	<p>[3] ICT 活用教育の推進</p> <p>Classi の機能を授業や復習などの学習活動に活用する、iPad で授業を行うなど、ICT を活用した教授法を研究し、授業中に実践的、体感的な活動が生まれるように努める。積極的に校内外の研修に参加し、整備されているインターネット環境を有効活用する。</p>
<p>3) 教育改善の効果を、大学進学や進路の開拓、各種資格の獲得などで指標化して確認する。</p>	<p>[4] 進学指導プログラムの充実</p> <p>外部テストのデータを活用し、進路目標に合わせた学習到達目標を設定して指導を進め、今までの進路実績と比較検証する。</p>

### 2. 国際バカロレア教育推進の目標

中期計画	事業計画
<p>[2] 国際バカロレア教育の推進</p> <p>1) 国際バカロレア教育で大きく育つ入学生の確保を進める。</p>	<p>[5] 国際バカロレア教育(IB) 入学生の確保</p> <p>国際バカロレア教育(IB) について理解を得るための広報活動を展開する。この際、文部科学省 IB 教育推進コンソーシアムと連携した普及活動を展開する。</p> <p>令和4年度修了の第1期生の大学合格や進学実績を基に広報活動を行う。</p>
<p>2) 定期的な研鑽機会の確保等により、担当教員の指導力の向上を進める。</p>	<p>[6] 国際バカロレア教育担当教員の定期的な研鑽機会の確保</p> <p>国際バカロレア機構(IBO)開催の教員研修会へ定期的に参加する。</p> <p>国際バカロレア教育実施校の5年目審査を通して、国際バカロレア教育の理念や教育方法について、担当教員の理解や認識をさらに向上させる。</p>

中期計画	事業計画
3) 国際バカロレアの教育方法についての校内教員研修（他コース担当教員対象）を進める。	<b>[7] 国際バカロレア教育担当教員による校内での教員研修</b> 国際バカロレア教育実施校の5年目審査を通して、IB教員と他コース教員間の情報交換や研修を進める。

### 3. 国際的な通信制教育の展開の目標

中期計画	事業計画
<b>[3] 国際的な通信制教育の展開の計画</b> 多様な学習者の学びのニーズを評価・検討し、教育プログラムの向上を進める。	<b>[8] 国際的な通信制教育の展開</b> 時代の要請に応える国際的な通信制教育を構築していくために、広報活動を通して学びのニーズを把握するとともに、新たな学びの方法などを検討・検証する。

## II. 生徒の支援

### 1. 生徒の多様な将来像に応えるための目標

中期計画	事業計画
<b>[4] 生徒の多様な将来像に応えるための計画</b> 生徒が持つ将来像について、体系的に学習し、体験する機会を提供し、各自のキャリア実現に求められる学力や能力を育成する。	<b>[9] 生徒の多様な将来像に応えるための方策</b> 2年生の自主活動期間や長期休業中におけるキャリア教育の一環として、職場訪問を実施する。このような多様な社会体験により、社会人として必要な知識や技能を身につけ、実社会で生き抜くために役立つ多様な能力を養成する。 キャリア教育の一環として各学年の生徒を対象に進路ガイダンスを実施し、進路情報の提供を行う。

### 2. 多様な生徒の支援に関する目標

中期計画	事業計画
<b>[5] 多様な生徒の支援に関する計画</b> 健康管理や学校生活及び家庭生活における具体的な相談や指導に対応するため、生活支援体制を更に充実させる。	<b>[10] 教育相談体制の充実</b> 多様な生徒のニーズに応じた細やかな教育指導と生活指導の充実を図る。 生徒一人ひとりの養育歴や家庭環境に配慮し、保護者と連絡を取り合い、最適な指導方法を検討していく。また、担任は必要に応じて、教育相談室や外部機関と連携をとりながら生徒を見守る。更に複数相談員の体制を整える。

### Ⅲ. 地域社会との連携

#### 1. 良好な社会的関係構築に関する目標

中期計画	事業計画
<p>[6] 良好な社会的関係構築に関する計画 学校行事への招待などによる地域交流、校外清掃などボランティア活動等、地域コミュニティとの関係を維持・発展させる活動を行う。</p>	<p>[11] 良好な社会的関係構築を図る方策 授業を設定せずに様々な活動に充てることのできる自主活動期間を中心に、福祉施設、校外清掃活動、小学生対象の英語学習補助など、ボランティア活動の場を提供する。家庭と協力し、県や市が主催するコミュニティ活動、地元の町内会活動など校外の諸活動への積極的な参加を促し、社会の一員としての意識を醸成する。</p>

#### 2. 地域教育の目標

中期計画	事業計画
<p>[7] 地域教育の計画 校外清掃などボランティア活動や企業の見学実習などを行う。</p>	<p>[12] 提携企業等と連携した教育の提供 自主活動期間や長期休業中におけるキャリア教育の一環として職場訪問を計画する。このような多様な社会体験により、社会人として必要な知識や技能を身につけ、実社会で生き抜くために役立つ多様な能力を養成する。</p>
	<p>[13] 国際バカロレア (IB) 教育プログラムの導入 国際バカロレア教育のコアとなる「創造性・活動・奉仕」プログラムに倣い、他のコースにも一定のボランティア活動時間を総合的な探究の時間に組み入れることを検討する。</p>

### Ⅳ. 国際化の推進

#### 1. 国際理解と異文化交流の目標

中期計画	事業計画
<p>[8] 国際理解と異文化交流の計画 交流協定による教育プロジェクト、生徒の海外研修などを実施する。</p>	<p>[14] 交流協定校との交流 国際理解に重点を置き、異文化交流に積極的に取り組む。生徒に国際的感覚を身近に感じさせるために、留学生を可能な限り受け入れ、また、海外校との交流協定を締結し、留学制度を確立させる。交流協定により訪問を受ける外国からの研修団との交流、関連大学の留学生との交流などの機会に、生徒を積極的に参加させることによって、異文化交流を推進する。なお、新型コロナウイルス感染症に伴う出入国の制限に対応するために、必要に応じて、オンラインによる交流を実施する。</p>

#### 2. 国際的な教育の目標

中期計画	事業計画
<p>[9] 国際的な教育の計画 対象国での広報活動の展開と生徒の受け入れを行う。</p>	<p>[15] 国際的な教育の推進 通信教育により海外での生徒を募集する加計学園の関連校（学校法人英数学館など）と共同で広報活動を展開し、生徒の確保を図る。</p>

## V. DXの推進

### 1. ICT活用に関する目標

中期計画	事業計画
<p>[10] ICT活用に関する計画</p> <p>ICT活用推進のためのFD実施及び各種証明書の申請手続きのweb化を図る。</p>	<p>[16] ICT活用に関する方策</p> <p>ICTに関して、年間2回の教職員活動を実施する。</p> <p>各種証明書の申請手続きWEB化のための方法を調査し、比較検証する。</p>

## VI. ガバナンス体制と内部質保証システム

### 1. 学校運営の改善及び効率化に関する目標

中期計画	事業計画
<p>[11] 学校運営の改善及び効率化に関する計画</p> <p>校長がリーダーシップを発揮できる環境を充実させるため組織及び運営の改善を継続的・恒常的に実施する。</p>	<p>[17] 学校運営会議の強化</p> <p>教育職員と事務職員が一体となり、附属高校の方向性を共有するために、学校運営会議を定期的開催し、学校を取り巻く現状を報告、確認することによって、必要な措置を講じる。また、協議した内容は職員会議で全校に諮る強力な運営体制を維持継続する。</p> <p>学校運営会議には附属中学校の管理職を隔週ごとに招いて附属中学校との合理的・一体的な運営を進める。</p>
	<p>[18] 教科会議の強化・連携</p> <p>教科会議を定期的開催し、議事録によって検討事項、決定事項を校長、教頭に報告する。</p>
	<p>[19] 情報共有の強化</p> <p>職員会議以外にも、Classi、メールや校内情報サーバーによって、教職員間の情報共有を図る。</p>
	<p>[20] 校務横断的な取組み</p> <p>複数の校務分掌を担当することによって、業務の理解及び業務の分散化を図る。</p>

### 2. 教育の質保証に関する目標

中期計画	事業計画
<p>[12] 教育の質保証に関する計画</p> <p>アクティブラーニングの導入やIB教育の理念を取り入れた授業を実施することにより効果的な教育方法・教育内容を充実させる。</p>	<p>[21] 教職員の資質向上への取組み</p> <p>学校現場で必要となるリーダーシップ性を向上させるために、各種の研修やワークショップ等へ参加させることで、個々のスキルアップを図り、組織の一員として自己の確立へ導く。</p> <p>国際バカロレアや新学習指導要領に関係する研修へ積極的に参加させる。</p> <p>外部団体主催の教科指導に関係する研修を重要視し、研修への参加を強く勧める。</p> <p>研修で得た情報は、職員会議や校内ワークショップにて全教職員で共有する。</p>

### 3. 教育の質保証に関する目標

中期計画	事業計画
<p><b>[13] 内部質保証に関する計画</b> 内部質保証を充実させ、組織運営の改善に活用するため、的確な評価指標を設定し、適正な個人評価（教員活動評価）を実施する。</p>	<p><b>[22] 学校運営会議の強化</b> 教育職員と事務職員が一体となり、附属高校の方向性を共有するために、運営会議や教科会議などを定期的で開催するとともに、自己点検及び外部評価を実施する。</p>
	<p><b>[23] 教科会議の強化</b> 教科指導に関しては、教科主任が中心となり授業研究を進める。</p>
	<p><b>[24] 授業評価による授業の改善</b> 教頭、教頭補佐等によって授業評価を行い、教育の内容と教員指導力の改善などを進める。 生徒による授業評価を実施し、授業担当者による効果的な授業の進め方を検討する。</p>

### 4. 財政基盤の強化に関する目標

中期計画	事業計画
<p><b>[14] 財政基盤の強化に関する計画</b> 経費を抑制するため財務情報等を活用し、財務分析を行うことにより業務の現状を検証し資源配分の重点化や経費削減など、より一層の効率化を実現する。</p>	<p><b>[25] 財政基盤の強化</b> 学校運営を行うために、定員の確保を最優先課題として受験生のニーズに沿った募集活動を展開する。体力のある組織を構築するために、改革と削減に加えて選択と集中により、人件費、教育研究経費、管理経費の適正化に取り組む。</p>

主な行事予定	
4月7日	始業式
4月9日	入学式
4月16日	前期入学式（通信）
5月12日	PTA 総会
7月9日	後援会総会（通信）
7月19日	全校集会
9月1日	全校集会
9月17日	前期卒業式（通信）
9月22日	体育祭
10月2日	後期入学式（通信）
10月7日	文化祭
12月22日	全校集会
1月6日	県外生入試
1月25日、26日	選抜1期入試
2月19日	選抜2期入試
3月1日	卒業式
3月11日	後期卒業式（通信）
3月18日	終業式

## 学生数・教職員数

### ■在籍生徒数

（令和5年5月1日現在）

課程・学科・コース名			入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
全 日 制 課 程	普 通 科	グローバルサイエンスコース	100	322	1,200	844
		総合進学コース	200			
		スポーツサイエンスコース	80			
		国際バカロレアコース	20			
	全日制課程 計		400	322	1,200	844
通信制課程（広域）普通科			-	-	600	87
総 合 計			400	322	1,800	931

（単位：人）

### ■教職員数

（令和5年5月1日現在）

校長	教頭	教諭	教員 計	事務職員
1	3	49	53	11

（単位：人）

## 財務関係

### ■事業活動収支

(単位：千円)

科目		年度	令和5年度 予算額	令和4年度 決算額
教育活動 収支	収入	学生生徒等納付金	554,049	502,862
		経常費等補助金	255,992	267,878
		その他収入	36,354	43,468
		計	846,395	814,208
	支出	人件費	693,700	728,789
教育研究経費		319,610	265,063	
管理経費		115,708	122,056	
その他支出		0	0	
計	1,129,018	1,115,907		
教育活動収支差額			△ 282,623	△ 301,700
教活外	収入	受取利息等	0	2
	支出	借入金利息等	3,922	3,796
	教育活動外収支差額		△ 3,922	△ 3,794
経常収支差額			△ 286,545	△ 305,494
特別	収入	資産売却差額等	0	1,500
	支出	資産処分差額等	0	914
	特別収支差額		0	586
基本金組入前収支差額			△ 286,545	△ 304,908
基本金組入額合計			△ 43,885	△ 191,217
当年度収支差額			△ 330,430	△ 496,125

### ■財務改善に向けた取組

今後、岡山県内の15歳人口が急速に減少することを踏まえ、安定的な学校運営を行うためには定員の確保が最優先課題であり、受験生のニーズに沿った募集活動はもとより、在校生の満足度を上げる必要があると考えます。さらに過去3年間で着実に増加してきている入学生数をさらに増加させるため、引き続き本校の教育活動並びに教育内容を多角的に伝え、広報活動の充実を図ります。在校生について教育活動はもとより心身ともに健康に過ごせるように、担任や生徒指導課と教育相談室及び保健室が綿密に連絡を取り、連携を強化します。

### ■施設設備整備計画（抜粋）

老朽化に伴う改修工事及び設備設置について、緊急性の高いものから順次整備する予定としており、今年度は女子生徒の増加に伴い不足している女子用トイレの増設、和便器から洋便器への交換を優先的に実施いたします。

装置・設備については、老朽化に伴うエアコンの更新を実施いたします。

主な施設関係

(単位：千円)

事業名	金額
第十校舎 便所新設工事	9,800
第一校舎 1階～5階トイレ和便器改修工事	20,405

主な装置・設備関係

(単位：千円)

事業名	金額
校舎エアコン更新	20,000